

令和8年度 教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	7	学校名	岐阜総合学園高等学校
------	---	-----	------------

社会的役割等 (スクール・ミッション)	「夢を見つけ、夢を育て、夢を叶える」高校として 総合学科の特長を活かした幅広い選択科目とキャリア教育を通して 主体的に生きる力と協働的に学ぶ力を身に付け、地域や国際社会に貢献できる人材の育成を目指す学校		
学校教育目標 (教育方針)	自ら学び続ける意欲と態度を養い、知・徳・体の調和のとれた豊かな人間を育成する。 1 主体性を重んじ個性を伸ばす総合学科の特色を生かし、自らの可能性を引き出す力を育てる。 2 自己を正しく理解し、自己実現を図るための、人生設計力を育てる。 3 実践的活動を通して、自主性・創造性を養い、健康な心身を育てる。 4 社会の一員としての役割と責任を自覚し、他を思いやる友愛の心を伸ばし、たくましく生きる力を育てる。		
3つの方針 (スクール・ポリシー)	どんな生徒を育てたいか 【GP】	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体性をもって課題解決に取り組み、自らの可能性を引き出す生徒</li> <li>自己を正しく理解し、自己実現を図るための人生設計力を身に付けた生徒</li> <li>実践活動を通じ、自主性と創造性、健康な心身を兼ね備えた生徒</li> <li>他人を思いやる友愛の心をもち、社会で生きる力を持った生徒</li> </ul>	
	生徒をどう育てるか 【CP】	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒一人一人の特性に応じた学力の伸長を図り、深い学びを実現するため、カリキュラム編成と、ICTなどを活用した創意工夫の授業展開</li> <li>総合学科における専門教育とキャリア教育を通して「主体性・思考力・協働性」を養う授業の実施</li> <li>「凜として美しく」をモットーに、学校生活の充実を図ると同時に、個々の進路実現に合わせた教育活動の実施</li> </ul>	
	どんな生徒を待っているか 【AP】	<ul style="list-style-type: none"> <li>向上心を持ち、どのようなことに対しても主体的に学ぶ姿勢がある生徒</li> <li>自ら様々な課題を発見・分析でき、適切な計画を立ててその課題に取り組める生徒</li> <li>他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができる生徒</li> <li>他者と協力しながら、社会に貢献しようとする思いがある生徒</li> </ul>	
学校の抱える課題	県内最大規模の総合学科単独校としての在り方を確立する ①各系列の特徴を生かした魅力ある教育課程の編成 ②キャリア教育を軸とした幅広い生徒の進路希望を叶える指導体制の確立 ③総合学科の特徴を理解し、強みを生かした教育を提供するための職員研修の充実		
教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標	
	学校経営	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合学科の強みを生かした特色ある教育活動を実践するため、教育課程や指導内容、教員の指導体制について常に見直しを図る。</li> <li>実践的で幅広い教職員の研修を計画的に実施し指導力の向上を図るとともに、管理職を中心に働きやすい職場環境づくりを推進する。</li> </ul>	
	学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日の授業を大切に、ICTを効果的に活用し、生徒の意欲的な学習態度を育成し、主体的で深い学びを実現する。</li> <li>総合学科の特色を生かし、産業教育・キャリア教育・文化芸術スポーツ教育等に係る幅広い授業を展開し、社会で活躍する確かな学力と実践力を育成する。</li> </ul>	
	進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己の能力や適性を理解し、ライフプランを作成し、自己の目標の実現と自らの成長のために主体的に学ぶ力を育成する。</li> <li>探究活動や実践を通じて課題を発見・分析し、情報や知識を適切に収集・活用しながら、他者と協働し社会参画する力を育成する。</li> </ul>	
	生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的生活習慣全般の指導を行い、美しい身なり・言動・姿勢で学校生活を送らせる。</li> <li>規範意識ならびに自他の生命を大切にす心、いじめをしない・させない心を育成する。</li> </ul>	
教育職員の業務量管理・健康確保措置の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理職がすべての教員に対し、早く帰る日(8のつく日)は、遅くとも18時までに執務室を出るよう促し、退勤状況を確認する。</li> <li>管理職がすべての職員に対し、出退勤システムに正確に入力するよう促し、在校等時間を把握して、健康維持の注意喚起を行う。</li> </ul>		

年度目標				年度末評価(自己評価)			
領域分野	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な具体的な取組・方策	県教育振興基本計画での位置付け	達成度の判断・判断基準あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A. B. C. D	成果と課題	総合評価 A. B. C. D
学校経営	①総合学科の特色を生かした学校運営や教育活動の実践のために教育課程や目録、広報活動、教員の指導体制の改善を継続し、地域住民や保護者など地域と一体となって魅力ある学校づくりを推進する。	施策IV-20	・生徒および保護者対象アンケートの結果 ・学校運営協議会などでの地域住民や保護者の意見				
	②特別支援教育委員会や研修会を開催し、専門機関と連携しつつ、多様な指導・支援を必要とする生徒に対する支援や学習体制の整備を恒常的に実施する。	施策IV-21	・生徒および保護者対象アンケートの結果 ・会議・研修会ならびに支援の実施状況				
	③総合企画部を中心に、教員のニーズや教育の今日的課題に応じた実践的で幅広い研修を計画的に実施し、教職員の資質・指導力の向上に努める。	施策IV-26	・研修会の実施状況および教員のアンケート結果 ・生徒および保護者対象アンケートの結果				
	④外部人材を活用し、校務のDX化を推進し多方面で効率的にICTを活用することで、教職員の多忙化の解消を目指す。	施策IV-27	・教職員の勤務状況 ・校務DX化の状況 ・生徒および保護者対象アンケートの結果				
学習指導	①生徒個々に応じた主体的・対話的・協働的・実践的な学びを充実し、社会で活躍する学力を育成する。	施策II-8	・授業アンケートの結果 ・生徒および保護者対象アンケートの結果				
	②タブレット・電子黒板・書画カメラ・学習支援ソフトを積極的に活用し、ICTを活用できる力を育成するとともに、生徒の理解の質を高める。	施策II-9	・授業アンケートの結果 ・ICT活用状況調査の結果 ・生徒および保護者対象アンケートの結果				
	③各系列ごとに職場体験活動や職業講話、外部施設設備の活用を通じ、地域資源を生かした産業教育を推進する。	施策II-14	・職場体験活動・職業講話などの実施状況ならびに生徒の事後アンケート ・生徒および保護者対象アンケートの結果				
	④総合学科の特色を生かし、文化芸術やスポーツに触れ、親しみ、感性を育む講座や行事を充実させる。	施策I-5	・授業や行事の実施状況 ・生徒および保護者対象アンケートの結果				
進路指導	①大学・企業等との連携や協働を推進し、実践的・体験的な学習の充実を図り、確かな学力と実践力を育成し、個々が主体的に進路目標を実現するための支援を行う。	施策II-8	・進学・就職の状況 ・外部模試などの結果 ・実習授業・職場体験などの事後アンケート				
	②生徒が自己の適性や可能性を理解し、働くことの意義や、学習と将来とのつながりを実感できるよう、地域や産業界と緊密な連携を図り、キャリア教育の充実を推進する。	施策II-13	・キャリア教育の実施状況および生徒の感想 ・生徒および保護者対象アンケートの結果				
	③「産業社会と人間」および「総合的な探究の時間」の内容を編成し直し探究的な学びを深化させ、互いに認め合う活動を通じて自己表現力の向上を図り、他者と協働して社会参画する力を育む。	施策I-1	・探究活動の事後アンケートや感想・自己評価 ・生徒および保護者対象アンケートの結果				
	④各系列ごとに地域の会社や施設、専門家等と連携した学習を実践し、「ふるさと岐阜」について学び、地域の課題解決のための探究活動を行い、将来地域の担い手として活躍できる人材を育成する。	施策I-4	・地域に関する探究活動の実践内容ならびに発表内容・自己評価・他者評価 ・生徒および保護者対象アンケートの結果				
生徒指導	①生活指導旬間を設け挨拶や生活規範・マナー指導について生徒主体で啓発活動を行い、自己指導能力およびコミュニケーション能力を育成する。	施策I-1	・生徒および保護者対象アンケートの結果 ・生徒会の活動状況 ・身だしなみ指導の状況				
	②交通事故を防止するため、交通安全強化旬間・交通安全の日を設け、交通安全委員・MSリーダーズ・職員による指導を継続的に実施し、子どもの安全・安心を守る安全教育の充実を図る。	施策III-19	・MSリーダーズの活動状況 ・交通事故発生件数 ・交通マナー違反件数				
	③携帯電話の使用規定を定め、生徒会と連携しながら情報モラルに関する指導を継続的に実施し、ICTを正しく効果的に活用できる力を育成する。	施策II-9	・携帯電話不正使用件数 ・生徒アンケート結果				
	④愚談や迷惑調査などのアンケート、全職員への研修を実施し、専門機関と連携しつつ、生徒指導・教育相談活動を推進し、いじめ・不登校の未然防止と早期発見・早期対応を徹底する。	施策I-3	・いじめ・いたずら等問題行動・迷惑行動の状況 ・遅刻者数・欠席者数の状況 ・教育相談・カウンセリングの実施状況				

来年度に向けての改善方策等 実施日：令和9年 月 日 学校関係者評価 実施日：令和9年 月 日

--	--